

北朝鮮の人々の生活実態 — 脱北者の調査から見た経済格差 —

三 浦 洋 子

要旨

北朝鮮は社会主義経済を標榜しているが、1990年代前半より、経済難や食糧難によって、人々の生活は大きな変化を遂げた。すなわち、国の国民支配の根幹であった「配給制度」が崩壊し、人々は自力で食糧や日用品を確保しなければなくなり、市場に参加するようになった。すなわち、市場メカニズムの中で動くことでしか、生き残る道はなくなったのである。その結果人々の生活はどうなったか。ここではその実態について、韓国在住の脱北者を対象にした韓国統一研究院の面接調査によって見ていく。結論としては、人々の生活には大きな経済格差が生じ、上流層、中流層、下流層という、明確な階層に分けることが可能となり、北朝鮮は市場を基本とした資本主義経済に接近、または転換している。

キーワード

北朝鮮 衣食住 脱北者 経済格差 市場

1. 問題の所在

北朝鮮はソ連型社会主義経済を標榜してきたが、1989年の世界青年祭の実施や、1990年代からのソ連や東欧など社会主義圏の崩壊による経済支援の停止、相次ぐ干ばつや水害による食糧不足などで、国民支配の根幹であった「配給制度」維持が困難になり、国民のコントロールが不可能になった。そのため、人々は食糧や日用品確保のため市場に大きく依存するようになり、「農民市場」という、かつては農民たちが自宅菜園で育てた農産物売買の合法的市場や、非合

法の闇市場が拡大し、ついに2003年、国も「総合市場」として認定せざるをえなくなった。

北朝鮮の市場の特徴は、国内では電力不足やエネルギー不足から生産部門の活動が制限されているため、密輸も含めた貿易活動に大きく依存していることである。それには、在日帰国者、北朝鮮在住の華僑、中国在住の朝鮮族など、北朝鮮国民以外の人々が大きく関与している。したがって、貿易をやりやすい中朝国境近辺の居住者や、中国や日本に親類のいる人々、賄賂でさまざまに融通をきかせることのできる部署の官僚や役人などは大変有利な立場に立っている¹⁾。

つまり、北朝鮮では市場に関係した人々は蓄財ができるが、そうでない人々は、負け組となるしかない。

こうした背景をふまえて、本稿では、北朝鮮社会における消費生活を、衣食住の観点から検証してみることにする。韓国では、北朝鮮の情報収集のため、韓国統一研究院（KINU）が北朝鮮の脱北者に対する面接調査を行っている。ここでは2012年に発表された調査表およびその分析を参照しながら、筆者独自の視点も加えて検討する²⁾。この調査を集約したものが表1であるが、面接調査により、脱北者の年齢、性別、居住地域、職業、食生活（主食と副食）、被服、住宅状況のインタビュー結果が示されている。現在、韓国内入国の脱北者の70%以上が女性という点で面接者も女性が多く、また、脱北者の出身地域に偏りがある点は否めない。

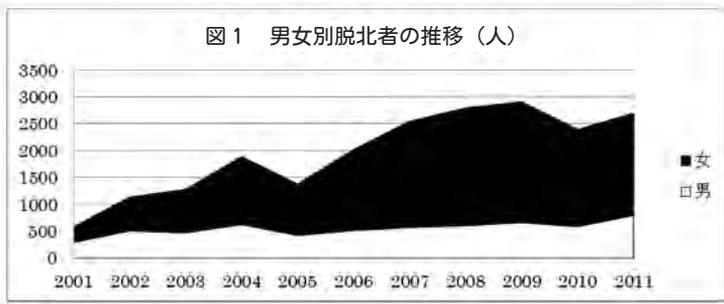
2. 脱北者の現状

まず、韓国への脱北者の現状を見ておこう。

韓国に入国した脱北者は、統計が開始された1950年から2010年までの約60年間でほぼ2万人に達した。当初は年間数人であったが、1994年の食料危機からは増加傾向を示し、2000年に入ると年間1000人を超えるようになり、2006年からは2000人台となった。

脱北者の社会定着を目的とした教育施設であるハナ院が、99年～2008年6月までに同院に入所した脱北者約1万2,000人の脱北理由を調査した結果、「生活苦」が63.0%と最も多かった。ただし、同じ生活苦でも、以前は餓死の回避という性格が強かったのに対し、最近は「より良い生活を求める」傾向が強まっている。

さらに、生計を立てること自体が難しかった90年代中盤には、家族を養う男性の世帯主の脱北が多かったが、その後、中朝の国境を越えやすく仕事も比較の見つかりやすいということで、女性の脱北が増えている。図1の男女別脱北者の推移では、特に2005年以降、上述したように、女性の脱北者が全体の70%、しかも20代、30代が大半を占めている。また、地域的には中国との国境近辺の脱北者が多い³⁾。



3. 衣食住の実態

KINUの調査表を北朝鮮住民の衣食住の生活実態と題して表1に示す。右はじの主観的階層とは、本人が自分の生活程度を上流、中流、下流のどの階層に属すと考えるか、という質問の答えである。かつて北朝鮮は平等化を目指していたが、すでにこうした質問に答えられることができるほど、経済格差は進んでいるのである。したがって、本稿では、主観的階層順にKINUの調査表を並び替えたため、左側の各人の番号はばらばらとなっている。それでは内容について見て行こう。

表1 北朝鮮住民の衣食住の生活実態

	年齢	性別	北朝鮮居住地	職業	食生活		衣服	住居			主観的階層	
					主食	副食		購入回数	原産地	住居形態		大きさ
1	30代	女性	元山市	商業所管理員 商売	雑穀ご飯 (健康食)	肉、魚、野菜	限度なし	日本製 (中古)	アパート	30坪台	3	上流層
4	30代	男性	平壤市	貿易業	健康食			韓国製	アパート	29坪	3	上流層
7	60代	女性	咸鏡北道	家庭主婦	米飯	豚肉 タマゴ、コーヒー	季節別	韓国製	アパート	40坪台	4	上流層
17	50代	女性	金亨稷郡	食糧供給所 責任者	米飯	肉		韓国製	一戸建て		4	上流層
24	50代	女性	清津市	女性同盟 委員長	米飯	肉、野菜	しばしば	韓国製	一戸建て	50坪台	2	上流層
2	40代	男性	沙理院市	教員	米飯	肉、魚、野菜	季節別	韓国製	アパート		3	中流層
5	30代	男性	新浦市	事務員	米飯	豚肉		韓国製	アパート	30坪台	2	中流層
6	30代	女性	平壤市	教師	米飯	肉、水産物		日本製 (中古)、 韓国製	アパート		2	中流層
8	10代	女性	会寧市	学生	米飯	肉		中国製 韓国製	アパート	50坪台	2	不明
10	20代	女性	恵山市	事務員	米飯	野菜		中国製	一戸建て		1	中流層
11	40代	女性	恵山市	美容師	米飯		季節別	日本製 (中古)、 韓国製	アパート	18坪	2	中流層
12	30代	女性	穩城郡	商売	雑穀 (米、とうもろこし)	肉、野菜	5年に 1回					中流層
13	60代	男性	穩城郡	資材 指導員	米飯	毎日肉摂取		中国製	一戸建て	36坪	2	中流層
14	20代	男性	恵山市	指導員	米飯			中国製 韓国製	アパート		2	中流層
15	60代	女性	穩城郡	商売、洋服社	雑穀 (米、とうもろこし)	時々肉・魚		中国製	一戸建て		2	中流層
16	20代	男性	恵山市	教員	米飯	キムチ、ナムル		韓国製	アパート		1	中流層
18	50代	女性	恵山市	商人	米飯	肉、アイスクリーム	1年に 1回	中国製 韓国製				中流層
19	20代	男性	恵山市	貿易業	米飯	野菜、とうふ、肉、 魚、果物	季節別	中国製 北朝鮮産 (オーダー)	一戸建て		2	中流層
21	40代	女性	恵山市	図案工	米飯							中流層
22	40代	女性	茂山郡	設計士	米飯		季節別 2着	日本製 韓国製				中流層
23	40代	女性	延社郡	農場 会計院	とうもろこしご飯	野菜						中流層
25	20代	男性	平壤市	大学生	米飯		季節別 2着		一戸建て	30坪台	3	中流層
26	20代	男性	北倉郡	軍人	米飯				アパート	14坪	3	中流層
27	30代	男性	平壤市	学生	米飯				一戸建て		2	中流層
28	50代	女性	恵山市	紡織、商人	米飯				アパート	14坪	1	中流層
29	30代	男性	茂山郡	輸出会社 労働者	米飯							不明
30	50代	男性	北倉郡	管理職	米飯	肉、野菜		中国製	一戸建て	20坪		中流層
31	40代	男性	中江郡	検疫所 検査員	米飯	肉	季節別	北朝鮮産 (オーダー)	一戸建て	10坪	1	中流層
33	40代	女性	龍淵郡	家庭主婦	米飯	肉、魚、野菜、卵	1年に 一揃い	中国製	アパート	20坪	1	中流層
3	50代	女性	平壤市	労働者	ナムルおかゆ とうもろこし麺 とうもろこしおかゆ	山菜、木の皮		中国製 (中古)	アパート			下流層
9	40代	女性	恵山市	美容師	とうもろこしご飯	野菜	季節別		一戸建て		2	下流層
20	50代	女性	南浦市	労働者	雑穀 (米、とうもろこし)	麺	1年に 1回	中国製	一戸建て		2	下流層
32	40代	女性	大安郡	労働者	とうもろこしご飯	魚		中国製	一戸建て		2	下流層

資料：韓国統一研究院「北朝鮮住民の生活の質-実態と認識」より

① 食生活

北朝鮮は90年代後半より「苦難の行軍」⁴⁾といわれる経済の落ち込みによって、餓死者まで出したといわれている。表2はOECD統計にある20～49歳までの男女別身長である。日本、韓国ともにほぼ男性は170センチ、女性は158センチであるが、北朝鮮は男性165.4センチ、女性154.8センチと両国と比べると男女ともに4センチ程度小さい。これは北朝鮮の栄養状態が身体の発達にも影響していることの傍証である。

国連食糧農業機関（FAO）では、各国の食料需給表（FAOSTAT）を毎年公表している。そこで、以下では、1990年から2007年までの北朝鮮の供給食料と供給栄養の推移を見て行こう。

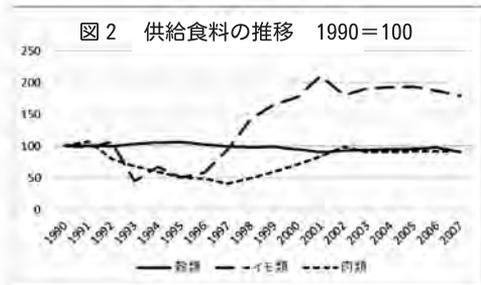
表2 最高身長（20歳から49歳成人）の比較

	男	女
北朝鮮	165.4	154.8
韓国	171	158
日本	171.6	158.5

資料：OECD, Society at a Glance Asia/Pacific 2011

公表している。そこで、以下では、1990年から2007年までの北朝鮮の供給食料と供給栄養の推移を見て行こう。

図2は1人当りの供給食料を、1990年を100として2007年まで示した。穀類はほぼ100をキープしているが、いも類が大きく伸び、肉類はいったん大きく落ち込んだが、95年頃より回復基調にある。



中国の北朝鮮輸出品の中で、豚肉は2007年までは上位に位置していた。(2003年～06年までは2位、07年も4位)。90年代前半までは金日成・正日の誕生日お祝い品として輸入豚肉を配給していたし、2000

年代の豚肉輸出の増加は、北朝鮮国内に豚肉を消費する上流層が現れたことを示しているのかもしれない。しかし、2008年に中国の豚肉生産地であった四川省で大地震があったことから中国国内でも供給不足になり、価格が高騰したことから輸出余力がなくなったために、豚肉輸出は激減、2010年にいたるも回復

していない⁵⁾。

図3は1990年から2007年までの北朝鮮の1人1日当りの供給栄養を示したが、食生活のパターンが類似している2007年の韓国と日本のデータも加えている。

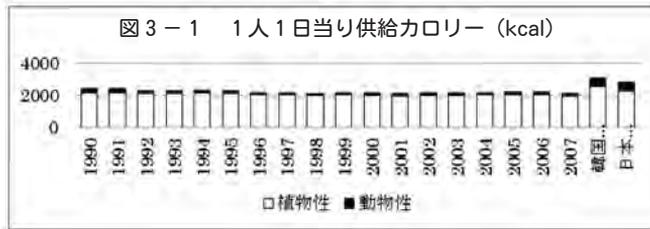


図3-1の供給カロリーは、90年の2376kcalが、2001年には2093kcalまで落ち込んだが、その後回復して2006年には2177kcalとなっている。世界保健機構 (WHO) は、人間が正常な活動をするためには1人当り1日2,130kcalの熱量が必要だと推奨する。そうすると、北朝鮮ではこの17年間で、1996、1998、2001～2003年と5か年間は2130kcalを下回り、2130kcal台は1997、1999、2000年であるから、結局、1996～2003年の8年間、人々は推奨カロリーぎりぎりでなんとか生きてきたことになる。そのカロリーの動物性割合を見ると、1991年には9.8%が最高で、1997年4.4%まで下がり、その後は伸びて、2002年、7.5%となり、2007年には7.8%までに回復している。2007年、韓国はすでに欧米並みの3000kcal超、日本は2600kcalで、動物性割合は韓国16%、日本21%である。



図3-2の供給たんぱく質は1991年の75gから98年には57gまで低下し、そこから60gになったのは2000、2002年の2か年だけである。動物性割合は91

年の20.5%が最高で、97年には11.2%と最低となり、2007年には19%と、91年水準に接近してきた。2007年、韓国は88g、日本は92gで、動物性割合は韓国46%、日本57%である。

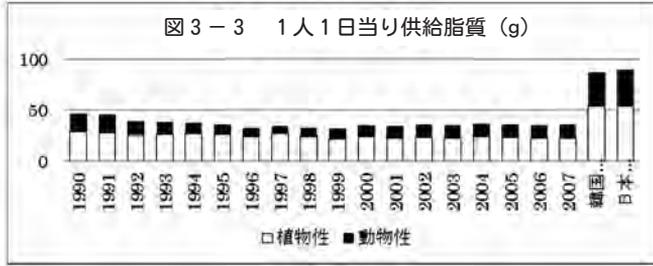


図3-3の供給脂質は1991年には46gであったが、99年32gまで低下し、その後2002年からは36g台を継続している。動物性割合は91年には39%であったが、97年にはその半分の20%まで落ち込んだ。その後2005年からは34%台で推移している。2007年、韓国は88g、日本は90g、動物性割合は韓国39%、日本40%である。

北朝鮮は韓国や日本とは栄養面では大きな差はあるが、それでも2000年代前半より食生活は改善され始めたといえる。

そうはいても表3のように、北朝鮮はまだ食料不足が解決したとはいえない状況であり、2010年でも100万トン超の不足となっている。

表3 北朝鮮食料需給と不足量 (万トン)

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
需要量	534	529	530	495	504	518	524	536	542	548	545	560	543	540	548	533
生産量	413	345	369	349	389	422	359	395	413	425	431	454	448	401	431	425
不足量	121	184	161	146	115	96	165	141	129	123	114	106	95	139	117	108

資料；FAO/WFP

さて、表1の食生活を見てみよう。上流層は健康へ配慮をする余裕があり、米を食べられるが、わざわざ体によい雑穀を主食としている。副食は肉、タマゴ、そしてコーヒーなど嗜好品も食べることが出来る。彼らの職業は商売、貿

易業となっている。

その反対の下流層としては、「おかゆと山菜、木の皮」と答えた労働者の3番である。主食がとうもろこし飯という美容師の9番、農場会計員の23番、労働者の32番も下流層だと答えている。

その中間には、主食は米飯やとうもろこし入りなどの雑穀米であり、副食物は主に野菜のおかずだが、肉や魚、そしてアイスクリームなどの嗜好品も食べることができる中流層が存在する。しかし中流層といっても千差万別で、限りなく上流層に近い人もいれば、下流層でもよい人もいる。

そして、米や肉が食べられる人たちの職業は、貿易業や役人、商売と答えた人が多いし、女性が多い。

食生活だけでも、上流層と下流層、その中間層という、階層が生じてきていることが明白だ。90年代後半より「北朝鮮には三種類の人がいる。飢え死にする人、物乞いする人、商売する人」というランコフ⁶⁾のことばが象徴的である。

② 衣服

北朝鮮では、昔から食べるよりも、服をきちんと着ることを重要な礼儀道徳として考えてきた⁷⁾。

北朝鮮の「配給制度」は、食糧だけでなく衣服にも適用された。したがって、人々は人民班を通じて供給カードの発給を受けた後、各自商店に行きカードを提示して配当された服地と衣服を購入して使っていた。

しかし1990年代中盤以後、食糧不足と経済の破たんによって、衣服の配給は食糧より先に中断された。したがって、住民たちは衣服を直接市場で購入するしかなかった。食べることと違い、衣服は貧富の格差が明確である。

表1では、明らかに下流層とみられる3番は中国製の中古服、20番、32番も中国製と答えている。また、上流層では、1番は中古の日本製だが、残りの4、7、17、24番は全員、韓国製と答えている。中流層は主に中国産や韓国産を好むが、ここでは男性2人が、北朝鮮産のオーダーメイドと答えている。これは韓服か

もしれない。

男性の韓服はともかく、北朝鮮女性には、1990年代以後、民族伝統を強調しながら朝鮮服（韓服）姿を北朝鮮当局は推奨し始めた。そして北朝鮮のメディアでは、北朝鮮女性が主要国家行事や国賓歓迎式がある時には、朝鮮服（韓服）を着ている姿をしばしば見かけることになる。また、南北離散家族の対面時にも大部分の北朝鮮女性たちは韓服を着て出る。この服は高価であり、概して北朝鮮女性は結婚する時に用意したものを一生着ることになる。国賓歓迎行事や国家名節行事に動員される場合が多い平壤市民の場合、韓服をしばしば着るが、他の地域の女性たちは選挙の時着る以外、他にはほとんど着る機会がない。

北朝鮮内閣機関紙「民主朝鮮」（2004年10月23日付）には、「身なりを社会主義生活様式に合わせよう」と題した記事を掲載して、「身なりを社会主義生活様式に合わせ正しくするのが、全社会の革命的な生活気風を確率し、強盛大国建設を早めるための重要な要求」と強調した。また、身なりと関連し、端正な服装と髪型、靴を履くよう要求したし、「他人式」ではなく、民族衣装の「朝鮮服」を着るよう呼びかけた。男性の場合、長髪ではなく、髪を短く切るよう要求した。民主朝鮮のこのような論調は、最近経済改革を進める過程で、北朝鮮社会に資本主義文化と流行が密かに拡大していることに対する懸念と警告の見方と見られる⁸⁾。

表1からは、北朝鮮にも韓流ブームが広がり、密輸されている韓国産の服が人気ようだ。一部地域では、市場の販売台で韓国産の服を売る人が増えている。普通、中国産の半袖Tシャツは約5000ウォンだが、韓国産は約1万ウォンで取引されている。保安当局は「非社会主義」として統制しているし、価格も2倍もするが、韓国産の服の人気は衰えない。韓国産の服は「商標がない服」「下の家（韓国）の服」などの隠語で取引されている。通関と取り締まり班に見つかからないよう商標が除去されるため、このように呼ばれている。人気の理由として、中国の服は購入した後に縫い直して着なければならぬほど質が悪いが、韓国服はデザインから裁縫まで良質とのことだ。

このような韓国産の服の増加を支えているのは、脱北者たちである。彼らが韓国産の服を北朝鮮に残した家族に密輸入を通して送っていて、家族が市場で売っているという。また、以前にはタイトな服や派手な服、胸部が大きく開いた服、英語が入った服は取り締まりの対象になっていたが、最近はそれもなくなり、様々な服が入っているという。

昨年脱北した平壤出身者によれば、「2010年までは韓国の韓服を着た女性を見ることはなかったが、「革命の首都」といわれる平壤で韓国式の韓服が登場したのは、韓流が急激に広まっている証拠」と述べた。一方、北朝鮮の朝鮮芸術映画撮影所が制作した2012年版のカレンダーにも、韓国ドラマの主人公が着た韓服に似たものをモデルが身に付けているなど、北朝鮮に韓流が深く入り込んでいるという⁹⁾。

さらに、市場では新品だけではなく、韓国の古着がたくさん売られている。経済の疲弊と貨幣改革の後遺症による現金保有量の減少によって、古着を買わざるをえなくなった人々が増えた。密輸で韓国から輸入された古着を広州から北朝鮮に送っている¹⁰⁾。

また、夏を迎えた北朝鮮・平壤でこれまでに見られなかった光景が出現した。人民日報をはじめとする中国メディアは、「北朝鮮人といえば、いつも黒や白、灰色など単調な色彩の服を着ている印象があったが、今年の夏の平壤は実に色とりどりだ」と報じた。記事によれば、北朝鮮では若い女性を中心に赤いワイシャツや花柄のワンピース、色とりどりのTシャツが流行しており、北朝鮮在住の外国人の間でも「北朝鮮の新ファッション」として話題になっているという。金日成大学に留学している中国人によれば、現在の北朝鮮の女性たちは年々おしゃれになっており、「街で売られている服も、(私が)北朝鮮に初めてきた当時とはまったく違い、デザインそのものがおしゃれになった」と語った。また記事は、中国や日本、ヨーロッパなどから輸入された商品を取り扱う店舗では、海外製の服を求める女性たちが殺到していると報じた。色が鮮やかな服ほど、売れ行きが良いという¹¹⁾。

輸出統計からみると、北朝鮮の市場で販売されている製品の8割は中国製品であるが、金額的にはそれほど多くはない。単価の安い製品が多いからであろう。そのなかではとくに2008年に急増しているものとしては男性用コート類、Tシャツ類、靴下類などが目立っている¹²⁾。

一方、北朝鮮国内では紡織や被服工業の現代化を急いでいる。例えば、平壤紡績工場では、編織糸生産ラインを更新して、2007年には染色基地の現代化のための事業展開をしているし、船橋紡織工場では下着類を生産している。寧辺絹織工場では絹布生産、生地、布団類、チマチョゴリの裏地を生産しているが、これらは主として婚礼用に使われている。平壤朝鮮服工場では、絹布の加工、広川編織工場ではビロードと毛布の質を高め、平壤第一デパートで売り出している。履物としては、新義州履物工場や順川靴工場で運動靴、革靴、射出成形長靴が製造されている¹³⁾。

③ 住居

北朝鮮住宅の規模と構造は、入居者の職場と職位を基準として1～4号、特号など5種の類型で配分される。例えば、1号は部屋1～2間と台所が付いた集団公営住宅あるいは部屋2間に台所と倉庫が付いた農村文化住宅で、末端労働者および事務員、そして協同農場員に配分される。

2号は部屋1～2間に板の間と台所が付いた一般アパートで学校教員や一般労働者に配分される。

3号は企業所部長、中央機関指導員、道単位副部長に配分されるが、部屋2間に台所と倉庫が付いた中級一戸建て住宅だ。

4号は中央党課長級、内閣局長級、大学教授、企業所支配人などに配分される。部屋2間以上に浴室、水洗式手洗い、冷暖房、ベランダがついたアパートだ。

特号は独立式多層住宅で浴室、水洗式手洗い、冷暖房設備が完備された高級住宅で、中央党副部長以上、内閣府以上、人民軍所長級以上が配分受ける。

北朝鮮住民の住宅普及率は一般的に50～60%水準に過ぎないと伝えられて

いる。住宅を申請して‘入社証’を受けるまで4,5年、最近では10年たっても住宅の配分受けるのが難しいという。したがって一つの住宅に複数の世帯が同居する場合がよくある。

しかし、2008年北朝鮮人口センサス報告書¹⁴⁾によれば、総世帯数は約588.7万戸であり住宅に住んでいる世帯数も約588.7万戸で、住宅普及率は100%である。また住宅は、一戸建て住宅、テラスハウス、アパート、その他に分かれる。

最も多い割合を占める住宅はテラスハウスで、588万世帯中258万世帯と、43.8%にのぼっている。次に多いのは一戸建て住宅で、約198万世帯で33.8%を占めている。そして、アパートは約126万世帯で21.4%を占めている。

表 4 - 1 住宅の種類別戸数 (単位：戸、%)

地域	世帯数	住 宅 類 型			
		一戸建て	テラスハウス	アパート	その他
都市	3,579,626	616,955	1,773,414	1,164,767	24,490
	100	17.2	49.5	32.5	0.7
農村	2,307,845	1,371,460	811,021	96,942	28,422
	100	59.4	35.1	4.2	1.2

資料：統計庁「2008年北朝鮮人口センサス」

表 4 - 1 で都市と農村の住宅を比較してみると、都市では、テラスハウスが最大で49.5%、アパート、32.5%、一戸建て住宅17.2%となっている。農村では、一戸建て住宅が59.4%と最大で、テラスハウス35.1%、アパート4.2%の順序である。特にアパートの普及率が都市と農村では大きな差となって現れた。

したがって一般的に北朝鮮でもアパートは都市化の象徴的住宅である。道別に住宅の普及率を見ると、アパートの割合が最も高いところはやはり平壤市で54.7%であった。次は慈江道が20.6%、江原道19%順となった。最も割合が低いところは平安南道の1.9%である。反対に一戸建て住宅は、稲作地帯である平安北道が42.8%、黄海南道42.7%となっている。テラスハウスの場合、両江道が65.2%と最大の割合を占め、次には咸鏡北道の58.2%であった。

北朝鮮の冬は厳しい。表 4 - 2 で暖房の住宅別普及程度を見ると、一戸建て住宅では木炭が、テラスハウスやアパートでは石炭ボイラー・練炭が最大の割

表4-2 住宅の種類別暖房方式 (単位：%)

暖房の種類	住 宅			
	一戸建て	テラスハウス	アパート	その他
中央/地域暖房	0.1	0.1	20.5	3.1
電気暖房	0.2	0.3	2.3	1.3
電気暖房+その他	0.1	0.2	3.9	0.3
石炭ボイラー/煉炭	30.2	54.1	60.0	30.0
木炭	66.8	44.2	12.5	53.3
その他	2.7	1.1	0.7	11.9
	100.0	100.0	100.0	100.0

資料：統計庁「2008年北朝鮮人口センサス」

合を占めているが、アパートは20%が中央または地域的な暖房が完備されているし、電気暖房関連も住宅の中では最大の6%を占めている。電力不足の北朝鮮で、暖房に電気を使えるということは最大のぜいたくといってもよいだろう。

表4-3 炊事燃料割合 (単位：戸、%)

燃料	使用戸数	割合
電気	79,057	1.3
ガス	167,462	2.8
石油	103,091	1.8
石炭	2,714,511	46.1
たきぎ	2,758,400	46.9
その他	64,950	1.1
合計	5,887,471	100

資料：統計庁「2008年北朝鮮人口センサス」

住宅別のデータはないが、炊事に使う燃料としては、表4-3ではたきぎか石炭である。たきぎは山から、石炭は自国で生産している。電気製品を持っていたところで、肝心の電気が不足しているから、炊事にも使用不可能ということになる。

北朝鮮では、かねてから経済計画の完成年としている2012年までに10万世帯の住宅を建設する目標が掲げられていた。そのため、現在、軍人をはじめとする国民20万人が作業に動員されているという。「労働新聞」にも建設の状況や、総書記の現地指導の様子が掲載されていた。

社会主義国家である北朝鮮では家賃という概念がなく、水道代や電気代などを含める「使用代」を払うことになっており、70の部屋に4人家族が住んだ場合、月150～170ウォンかかるといわれている。ちなみに労働者の平均収入が5000ウォン程だ。また、住宅の個人所有は認められておらず、地域の役所など

から住居が指定される。一軒家は郊外にあることが多いため、北朝鮮の国民には、都会的なイメージのあるアパートに住むことに憧れる傾向がある。

北朝鮮の現地取材が認められている韓国の月刊誌「民族21」によると、新しく建設されたアパートは、停電にそなえて、従来より階を少なめに設定することが主流となっている。これまでの平壤市内の一般的なアパートでは、台所と浴室、そして小さな部屋が2つ程というのがほとんどで、農村地帯では1つの部屋と台所のみ、といった家も珍しくない。エネルギー不足が深刻な同国では、豚の糞から発生するメタンガスを燃料とした暖房施設が奨励されたこともある¹⁵⁾。

表1では、上流層である1番はアパート住まいだし、7番も4室あるアパート、17番は平屋一戸建てだが、4室ある。24番の部屋数は2室だが、50坪台とかなりの広いアパートである。4番は平壤のアパートである。こうした高級アパートでは暖房や炊事も電気が使用できる。下流層は一戸建てでも部屋数は2室である。しかし、中流層の中にも、部屋数1室というものもある。

結論

今回の脱北者の面接調査により、以下のことがいえる。

上流層：主食は米飯、もしくは健康を考慮して雑穀、副食は肉、タマゴ、そしてコーヒーなど嗜好品も食べることが出来る。衣服は、新品の韓国産か中古の日本製の服を着て、購入回数も多い。住宅は高級アパートか一戸建てで、炊事や暖房には電気が使用可能である。このような生活ができる人々の職業は、役人や貿易業などに従事する人々で、女性が多い。ここでは5人中女性が4人、しかも3人は50代、60代の中年であった。

中流層：主食は米飯やとうもろこし入りなどの雑穀米であり、副食物は主に野菜のおかずだが、肉や魚、そしてアイスクリームなどの嗜好品も食べることができる。衣服は新品の中国製や中古の韓国製を着ている。炊事および暖房の燃料が概して煉炭やたきぎで、家電製品があっても電力不足で使用できない人々である。住居が国境地帯にある人が多く、職業も管理職や専門職に従事し

ながらも商売も行っている。しかしここで中流層といっても、彼らの主観に頼った分類であるから、生活内容にはかなりの格差があることはいなめない。

下流層:主食はとうもろこしご飯、副食には主にキムチや山菜、木の皮もあり、肉は特別な行事でもなければ口にできない。衣服は中国製の中古服を購入する。燃料不足で炊事および暖房も困難である。職業は労働者が多く、40～50代の女性ばかりである。

ただし、この階層分類は基本的指標に基づいてなされたものではなく、本人の主観なので、客観的に見て、特に中流層は、まだ検討の余地があると思われる。しかし、北朝鮮はこのように明確な経済格差が生じていて、資本主義経済に接近または転換しているといえる。

注

- ¹⁾ 北朝鮮の市場に関する研究は次の文献を参照。イソク（2009）、イソク・ヤンムンス他（2009）チョチョンイ他（2010）イムスンヒ（2005）、梁文秀（2010）
- ²⁾ キムスアム他（2011）表はp 103～105、食生活に関してはp 76～85、衣服に関してはp 85～89、住居に関してはp 90～101を参照した。
- ³⁾ 統一部ホームページunikorea.korea.kr
- ⁴⁾ 「苦難の行軍」とは、1990年代後半の飢餓により22万人から350万人が死亡したといわれている時期に、飢饉と経済的困難を乗り越えるためのスローガン（1996年の『労働新聞』新年共同社説掲載）である。もともとは、植民地時代に金日成率いる抗日パルチサンが満洲で行軍したことに由来する。
- ⁵⁾ JETRO（2012）p 15～16
- ⁶⁾ ランコフ（2009）p 355
- ⁷⁾ ERINA（2008）p 24
- ⁸⁾ 朝鮮日報（2004.11.1）
- ⁹⁾ 中央日報（2012.5.21）
- ¹⁰⁾ デイリーNK（2011.6.14）
- ¹¹⁾ 中国BBS（2010.7.26）
- ¹²⁾ JETRO（2012）p 21
- ¹³⁾ ERINA（2008）p 24

¹⁴⁾ NSO (2011)

¹⁵⁾ 労働新聞2010/01/20

文献

(韓国語)

イソク「北朝鮮市場：規模推定と構造分析」韓国開発研究院政策研究シリーズ
(2009)

イソク、ヤンムンス他「北朝鮮計画経済の変化と市場化」経済人文社会研究会
共同研究叢書 韓国統一研究院 (2009)

イムスンヒ「食料難が北朝鮮女性に与えた影響」韓国統一研究院「統一問題研
究」(2005)

キムスアム他「北朝鮮住民の生活の質-実態と認識-」韓国統一研究院研究叢書
(2011)

チョチョンイ他「北朝鮮市場進化に関する複雑系シミュレーション」韓国統一
研究院 (2010)

(日本語)

環日本海経済研究所 (ERINA) ERINA REPORT83 (2008)

日本貿易振興機構 (JETRO)「中国と北朝鮮の経済関係に関する調査」(2012)

梁文秀 (ヤンムンス)「北朝鮮における市場の形成と発展-実態と含意-」聖
学院大学総合研究所紀要 (2006) No.37 p.88 ~ 105

ランコフ (烏居英晴訳)『民衆の北朝鮮』花伝社 (2009)

(新聞)

中央日報

朝鮮日報

デイリーNK

労働新聞

(統計)

FAOSTAT「食料需給表」

NSO(韓国統計庁)「2008年北朝鮮人口センサス」(2011)

(みうら ようこ 本学准教授)